

云ウテモ自分ハ不信ト思フ。此點 陛下ニ上奏セザルヲ  
得ス。此ノ點判然セザレバ上奏出來ス。

昨年「シンガポール」ヲヤレト云フタノニヤラナカツタ  
カラコンナ事ニナツタ

上奏ハ何時スルヤ、上奏ノヤリ方ニモ考ヘラレ度  
以上ノ如クシテ結局二、三日再考スルコトトシ解散セリ

六月二十五日第三十二回連絡懇談會

「南方進軍促進ニ關スル件」並「情勢ノ推移ニ伴フ國策要綱」ニ關スル件

一、出席者 兩統帥 部次長 特ニ出席ス

ニ先ツ南方進軍促進ニ關スル件ニ就キ參謀總長説明ヲナシ之ヲ可決ス  
依ツテ午後三時臨時閣議ヲ開キ、別ニ準備セルモノ（武力關係ヲ  
除ク）ヲ總理ヨリ朗讀シ關係ノ質問ヲ受ケテ閣議決定トナシ、午  
後四時ヨリ總理兩總長列立上奏スルコトニ決ス

三、前項會議ノ概要

外相 御説明案ハ結構ダガ之レニヨルト今迄何モヤツテ居ラス  
機ニ思ハレル書方ダガ今迄モヤツテ居ル機ニ申シ上ゲテ  
矣レ。軍事基地港灣等ノ事ハ既に交渉ヲヤツテ居ル。獨

ニ「ヴシー」ヲ壓迫シ軍事基地設定ヲ容認スル様云ウタ  
所「リ」ヨリ強壓ヲ加フルコトハ出来ヌ旨返アリ、從ツ  
テ日本獨力ヂヤルト大島ニ傳ヘ置ケリ

「本件ハ急イダ方カ宜シ、決定シタ以上今直グガ宜シイ、臨時開  
議開催ハ別較スルカモ知レヌガ時柄柄已ムヲ得ズ」トノ外相ノ意  
見ニ依リ午後三時臨時開議ヲ開催スルコトニ決ス

外相 實行ニ方リテハ統帥部ト充分連絡シ、外交ト軍事トノ緊  
密ナル連絡ヲ保持致シ度、軍隊集合セハ外交ハ電撃的ニ  
ヤル如ク統帥部ト連絡致シ度

參謀總長 大命拜受ヨリ軍隊集合迄ニハ二十日ヲ要ス

外相 承知シアリ

（參謀次長本件ニ關スル限り外相ハ大イニ氣合ヲ入レテヤルモノ  
ト感取ス）

其次テ外相三國同盟ト中立條約トノ關係ニ就キ獨伊「ソ」大使ニ對  
シ話シタル内容ヲ披露ス。

要旨左ノ如シ

三國同盟ハ中立條約カ出來テモ之ニ依リ左右セラレ或ハ影響ヲ受  
クルモノニアラス。此ノ見解ニ就テハ外相歸朝後發表セリ、而モ  
「ソ」ヨリ何等返電來アラス。實ハ獨「ソ」戰ハヌト思フタカラ  
中立條約ヲ結ンダノデアツテ、獨「ソ」戰ヲ權ナ狀況ナラバ中立  
條約ナド結バズニモツト獨ト仲好イ行動ヲ取りタカツタ

「オットー」ニハ條約ノ文句ニ拘ラス同盟ヲ堅持ス、何カヤル等

ノコトハ必要ニ應シテ斷シスルト云フテオイタ

「ソ」大使ニハ右ニ述ベタ趣旨ニ沿ヒ斷シテオイタ

茶 「ソ」聯大使ハ右外相ノ言ニ對シ如何ナル感想ヲ受ケタ  
ト判斷スルヤ

外 相 日本ハ冷靜ダガドウモ何ントモハツキリセヌト言ウタカ  
ラソウ思フタノダラウ

茶 日本ハ三國同盟ニ忠實デ中立條約ニハ不忠實ダト思ハナ  
カツタラウカ

外 相 夫レ程ニハヒビカント思フ、尤モ中立ヲ破ル等ノ斷ハシ  
テ居ラス

（外相ノ説明ヲ同キ次長ハ「ソ」聯大使カ中立條約ハ欺目ダト受

ケ取ツタモノト判斷ス）

外 相 「オットー」ニハ何モ正式ニハ云フテ居ラス。早ク國策  
ヲ決メタイ、「オットー」ハ盛ニ極東兵力ノ西造ヲ云フ  
テ居ル

總 相  
參謀次長

極東兵力ノ西造ノ件ハ、獨ニ取り強クヒビクダラウガ日  
本ニ取ツテハ寧ロ小サク感ゼラレルノハ當然ナリ  
獨ノ事バカリ借用スルノハ不可ナリ

海 相 將來ノ外交上ノ參考ノ爲海軍トシテ一言ス

過去ハ間ハズ、國際情勢微妙ナル關係ニアル現在統帥部  
ニ無斷デ違イ先ノ事迄シヤベルナ。海軍ハ對英米戰ニハ  
自信アレドモ、對英米「ソ」戰ニハ自信ナシ

米「ソ」結ンデ、米が極東「ソ」領ニ海軍基地航空基地  
無補測定所等ヲ造リ、或ハ「ウラジオ」ノ潜水艦ガ米ニ  
移譲セラルル様ナ事ニデモナレバ、海軍作戰トシテハ極  
メテ困ル

此ノ如キ狀態ニセス爲ニハ「ソ」モ攻撃シロ、南方モヤ  
レト云フ様ナ事ハ言フナ

海軍ハ「ソ」ヲ刺殺スルコトハ固ル

外相 英米トヤルノハ辭セズト云フノニ「ソ」ガ入ツタトテド  
ウシテ困ルノカ

海相 「ソ」ガ入レバ一國フエルデハナイカ

何レニシテモアマリ先走ツタ事ヲ云フナ

外相 今迄佐ガソシナ事ヲ云フタ事ガアルカ、ソレダカラ國策

ノ大綱ヲ早ク決メヨト云フノダ

其右ノ會談動機トナリ國策要綱ニ就キ話ヲ進ム

參謀部長陸海軍決定案ノ要旨ニ就キ口頭ヲ以テ説明シ「外相ハ積  
極論ヲ唱フルモ、敵軍ノ軍備充實未タ完全ニ出來居ラズ、支、北、  
南三方面ノ條件ニヨツテ始メテヤレルノデアル、例ヘハ極東ニ動  
亂勃發、極東兵力ノ西進、「ソ」聯政權ノ崩壞等ノ情勢ニナツタ  
ラヤリ得ルノデル。「ソ」ト最早ニ戰ヘバ米ガ之ニ加ハルコトア  
ルヲ以テ氣ツツケネバナラス

外相 獨ガ勝チ、「ソ」ヲ處分スルトキ、何モセズニ取ルト云  
フ事ハ不可。血ヲ流スカ、外交ヲヤラネバナラス。而シ

テ直ヲ流スノガ一番宜シイ。「ソ」ヲ處分スルトキ日本  
ガ何ヲ望ムカカ問題ナリ。

獨モ日本ハ何ヲスルカドウカト考ヘテ居ルダラウ

「シベリヤ」ノ敵ガ面ヘ行ツテモヤラスノカ

牽制位ヤラネバナラスデハナイカ

陸、海相 牽制ニモ種々アリ、帝國ガ假トシテ居ルコトガ既ニ牽制

デハナイカ、コウ云フ風ニ應酬シナイノカ

外相 兎ニ角ドウスルカ早クキメテ呉レ

茶 何ハトモアレ先走ルナ

外相ハ總長ノ説明セルモノニハ大體同意ナルガ「ソ」トヤレバ米  
ガ入ルト云フ點ガ分ラヌト述ブ。

以上ニテ閣議開會ノ時間トナリ明日十時ヨリ會議ヲ續行スルコトトシ散會ス

六月二十六日第三十三回連絡懇談會

情勢ノ推移ニ伴フ帝國國策要綱ノ件

一、出席者前同ノ通り

三、陸海軍決定ノ國策要綱ヲ検討ス

先ツ本文ヲ參謀次長讀ミ、參謀總長之ヲ説明ス（御説明案ニ據リ）

外相 方針ノ一、三ニ就テハ異存ナシ

二ニ就テハ支那事變遇進ハ可又自存自衛ノ基礎ヲ確立迄  
ハ可ナルモ、「南方進出ノ歩ヲ進ム」ト云フコトト「尙  
北方問題ヲ解決ス」ノ尙ハドウモ分ラヌ

又要領三ノ各般ノ施策ヲ促進スト云フコトモ分ラヌ

參謀總長 何ヲ同カントスルヤ、南ト北トノ輕重如何ト云フコトデ